

19 松議第 000324 号
令和元年 8 月 5 日

松阪市長 竹 上 真 人 様

松阪市議会議長 中 島 清 晴

入札制度についての調査結果に基づく意見書の提出について

松阪市議会では、公共事業の入札に関する状況や業界の現状を把握し、今後の入札等のあり方について検討を行うため、松阪市に入札参加資格登録のある市内工事事業者 190 社に対し、平成 30 年 8 月に入札制度に関する調査を実施し、140 社から回答(回収率 73.7%)を得ました。

所管する総務企画委員会において、委員会協議会や勉強会を重ね、調査結果をもとに協議したので、下記のとおり意見を提出いたします。

今後も引き続き入札制度の研究、協議を重ねていく所存ですので、よろしくお願ひいたします。

記

「松阪市入札制度等に関する調査」結果に基づく意見書

- 一. 概ね現行制度のままで良いとの回答が多数となるなかで、調査を行った7つの設問の内、「最低制限価格（予定価格の85%）制度」について、回答者の66.4%が「見直しが必要だ」との集計結果となった。

については、市内の企業数の減少傾向や防災協力業者として地域への貢献度も考慮された同制度の再構築を検討されたい。